

# 選手みなさん

## 試合に出るとき、ぜひ守ってください

新日本スポーツ連盟 全国テニス協会

### < はじめに >

第25回全国テニス選手権大会は、千葉市蘇我スポーツ公園フクダ電子ヒルスコートで行われます。

本大会は日本テニス協会発行「JTAテニスルールブック2025」の規定に準じて行います。

また、長年積み重ねてきた当連盟の「全国スポーツ祭典」や「選手権大会」の慣習も生かして行います。

### < 競技上の注意事項 >

1. 天候その他により試合の有無が不明な場合でも、定刻までに会場に参集してください。  
蘇我スポーツ公園フクダ電子ヒルスコートは、水はけが良いですが、試合の有無を自分で判断しないこと。
2. 受付を1日目、2日目とも指定時間までに済ませてください。
3. 試合方法は、本戦は1セットマッチ(6-6 7Pタイブレーク)で行い、準決勝から8ゲームスブ  
ロセットマッチ(8-8 7Pタイブレーク)で行います。  
コンソレーションは、1セットマッチ(6-6 7Pタイブレーク・ノーアドバンテージ)で行います。  
但し、天候等によっては変更する場合も有ります。
4. ウォームアップについて
  - ① 本戦は5分以内とし、コンソレーションはサービス4本のみとします。
  - ② ウォームアップ時、ウォームアップスーツ着用可ですがロゴ違反のものは着用出来ません  
ので注意して下さい。余りにも寒い場合は試合中も着用を認める場合も有ります。
5. 今回会場には、トレーナーが常駐しています。  
試合中に発生した怪我または病気に対してトレーナーは手当てや判断をおこないます。
6. ロービングアンパイアを3～4面に1人配置します。  
ロービングアンパイアの権限は、試合前はウォームアップ時間、着用するウェア(ロゴ)の  
指導、試合中に生じた問題の対応などをお願いしています。  
試合中は、①不正確な判定のオーバールール  
②フットフォールのコール  
③時間の管理などで選手の皆さんを指導します。

### < 服装について >

\*「JTAルールブック2025を原則とします。試合に出る前に確認し、相応な服装で参加すること。ウェアの適否は、レフェリーが最終判断しますが、必要に応じロービングアンパイアより、服装の交換が指示されます。

\* テニスウェアでも試合と練習のウェアは違います。ロゴが大きいウェアは練習用で、試合用ではないので注意すること。

\* テニスウェアとは

- ・ 男子…シャツとショーツ
- ・ 女子…ワンピース シャツとスカートまたはショーツ

※ セーター、カーディガン、ベストは認める。

\* 着用できない服装

- ・ テニスに不適切なTシャツ、ランニングシャツ、ジーンズなど
- ・ ロゴの数や大きさが不適切なウェアなども
- ・ スパッツ(医療製品)には、13cm<sup>2</sup>以下の製造業者ロゴ1つと規制されています。  
気をつけること。

※ ロゴについて…JTAルールブック2025が原則となります。ルールブック記載のロゴ規定一覧表や、それを具体化したシャツやパンツの図、実際のロゴの大きさの図などは、ホームページに掲載してありますので確認して下さい。また、分らない様でしたら各県テニス協議会や役員にご相談下さい。

\* 例外規定

- ・ 長ズボンの着用…ルールブックでは、レフェリーの許可がないと、ウォームアップ以外で長ズボンは着用できないとしていますが、当大会では、開催時期が12月であること、参加選手の年齢規制がないことなどを考慮し、着用を認めています。
- ・ レフェリーの許可…天候等により、レフェリーが試合中のウォームアップ用服装を許可した場合。(全体に連絡されます)但し、ロゴ違反のウェアは着用できません。

## < その他の注意事項 >

1. 大会役員の指示に従い、速やかな試合進行にご協力ください。
2. プレーヤーは試合中いかなるコーチングも受けられません。
3. コート内では携帯電話の電源を切ってください。(コーチングとみなされます)
4. 本大会はすべての選手を公平に扱います。
5. スマートウォッチも、試合中は着用出来ません。  
電源を切ってバッグの中にしまして下さい。

## ・新日本スポーツ連盟は「フェアプレイの精神で試合を！！」を呼びかけています。

フェアプレイとは

- ① ルールを守る
- ② 対戦相手をリスペクト(尊敬し信頼すること)
- ③ スポーツマンシップに乗っ取って試合を行う

## ・セルフジャッジの5原則を守りましょう！！

試合中には、時としてトラブルが発生します。よりフェアな試合がスムーズに行えるよう次の事を守ってください。

- ① 判定が難しい場合は「グッド」(相手に有利に)
- ② 「アウト」「フォルト」はボールとラインの間に、はっきりと空間が見えたとき
- ③ サーバはサーブを打つ前、レシーバに聞こえる声でスコアをアナウンス
- ③ ジャッジコールは相手に聞こえる声と、相手に見えるハンドシグナルを使って速やかに
- ④ コート外の人にはセルフジャッジへの口出しはしない